

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	親と子の環境教室における事業			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 8	-
【施策名】 環境の保全	総合計画書 (ページ)	99	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 7 環境保全費	事業 3 環境教室事業費
-----	---------	-----------	-----------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内在住の小中学生とその保護者	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 応募者数
	→	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 環境教室を通じて、環境について関心を持ってもらう。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 環境について学んだ人数
→		
③ そのために何をしましたか。 市報、ホームページでの広報活動による周知	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 広報活動	
→		

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	26	27	24	
	成果指標	②の数値	人	26	25	24	
	目 標	②の目標値	人			25	25
		目標値設定の考え方	行き先の許容人数等を考慮して、4市全体で100人とし、その数値を均等割りした。				
活動指標	③の数値	回	1	1	1		

3 経費	事業費(実績)		円	22,780	16,443	27,670	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	22,780	16,443	27,670	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	15.5	15.5	15.5	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	66,650	65,100	65,100		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	89,430	81,543	92,770		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成3年度より、空堀川流域4市(武蔵村山市、東大和市、東村山市、清瀬市)で「空堀川水環境確保対策会」を組織しており、4市共同の環境啓発事業の一環として環境教室を開催している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 近年の環境問題は重要課題であり、地球温暖化対策などが大きな課題となっている。また、自然環境や生物環境などの啓発事業が重要である。

仕 事 の 内 容	親と子の環境教室における事業			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 宮鍋 和志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 施設見学等を通して、環境について学べる良い機会であるといった好意的な意見を寄せられることが多い。			
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
6 市民協働	取り組んだ	取組手法	⑧その他（市民が環境教室に参加）	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 多数の応募がくるよう、市報等でPRしていく。				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 年度によって参加者数に波があるため、引き続き安定した参加者の確保を目指す。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 現状維持			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 年度によって参加者数に波があるため、引き続き安定した参加者の確保を目指す。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 環境について学ぶことができる施設の検討			
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 毎年度実施しているため、訪問する施設がある程度固定化している。新たな環境学習の場所を意識して探す必要がある。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果	成果を維持する。		経費 仕事の経費は維持する。